

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【公開番号】特開 2003-231218 (P2003-231218A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 19 日 (2003.8.19)
 【出願番号】特願 2002-29674 (P2002-29674)
 【国際特許分類第 7 版】

B 3 2 B 27/16
 B 0 5 D 7/04
 B 0 5 D 7/24
 B 2 9 C 45/14
 C 0 8 F 299/00
 C 0 8 G 59/34

【F I】

B 3 2 B 27/16 1 0 1
 B 0 5 D 7/04
 B 0 5 D 7/24 3 0 1 T
 B 2 9 C 45/14
 C 0 8 F 299/00
 C 0 8 G 59/34

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 1 月 31 日 (2005.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更

【補正の内容】
 【発明の名称】光硬化性シートの製造法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更

【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

側鎖に光重合性官能基を有する熱可塑性樹脂 (a - 1) および光重合開始剤 (a - 2) を含有する光硬化性樹脂組成物 (A) および溶剤 (S) を含む混合溶液を基材シート (B) 上に塗工する工程および塗工後の基材シート (B) を加熱して溶剤 (S) を揮発させる工程を含む、光硬化性樹脂組成物 (A) の層と基材シート (B) とを含む光硬化性シートの製造方法であって、溶剤 (S) がアルコール系溶剤および / または脂肪族炭化水素系溶剤を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

光硬化性樹脂組成物 (A) が、さらに無機微粒子 (a - 3) を含む、請求項 1 のいずれかに記載の方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記課題を解決するため、側鎖に光重合性官能基を有する熱可塑性樹脂（a - 1）および光重合開始剤（a - 2）を含有する光硬化性樹脂組成物（A）および溶剤（S）を含む混合溶液を基材シート（B）上に塗工する工程および塗工後の基材シート（B）を加熱して溶剤（S）を揮発させる工程を含む、光硬化性樹脂組成物（A）の層と基材シート（B）とを含む光硬化性シートの製造方法であって、溶剤（S）がアルコール系溶剤および／または脂肪族炭化水素系溶剤を含むことを特徴とする方法を提供する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

